神戸大学環境保全推進センター
シンポジウム2025

食品ロスが与える影響とは？

ゴミ処理費用が増大、CO2排出で環境にも影響。食べられるはずのものが捨てられるだけではなく、ゴミの焼却にともなう環境問題も深刻です。特に、水分を多く含む食品の焼却には多くのエネルギーが必要なうえ処理費用も掛かります。また、焼却時には二酸化炭素（CO2）が排出され、焼却後の灰を埋め立てる土地の問題も発生します。もし、食品ロスを100トン削減できれば、46トンもの二酸化炭素を削減できます。出典：「食品ロス削減ガイドブック」（消費者庁）

日　時　2025.11.4(火) PM 14:00～

場　所　百年記念館（神大会館）
六甲台第２キャンパス　[102]

先着300人　当日参加も大歓迎

ゲスト講演＆パネルディスカッション
2025テーマ：食品ロスの真実 ～未来を変える選択～

プロフィール

井出留美（左）　奈良女子大学食物学科卒業。博士（栄養学/女子栄養大学大学院）、修士（農学/東京大学大学院）。ライオン、JICA海外協力隊、日本ケロッグを経て、3.11の食品支援を機に（株）office3.11設立。食品ロス削減推進法成立に協力。国際連合Champions12.3メンバー。著書に『私たちは何を捨てているのか』『おてらおやつクラブ物語』ほか多数。食品ロスを社会課題として広く認知させた功績により、食生活ジャーナリスト大賞、食品ロス削減推進大賞消費者庁長官賞などを受賞。

武本佳弥（中）　株式会社シューファルシ代表取締役。産業廃棄物の適正処理や環境マネジメントを通じて中小企業の企業価値向上に貢献。2012年廃掃法改正を機に実務者研修や講演活動を展開し、業界団体や自治体における人材育成にも尽力。環境新聞のコラム連載は10年以上。SNSやネット番組を通じて業界のイメージアップにも取り組む。廃棄物処理業界初の全国女性部会組織の立ち上げ、環境カウンセラー育成事業支援など活躍は多岐にわたる。NPO法人環境カウンセラーひょうご副理事長などを務める。

小島理沙（右）　専門は環境経済学、循環経済論。容器包装や食品廃棄物を対象に、社会実験と計量経済学の手法を用いて廃棄物の発生抑制に関する実証研究を行う。3R政策の中でも「Reduce（発生抑制）」に重点を置き、実践的・政策的な課題解決に取り組む。ESD（持続可能な開発のための教育）では、神戸大学が2008年にGPを獲得した当初より、経済学部での講義を担当。環境省や自治体の審議会委員、学会理事などを歴任し、内閣総理大臣賞、環境大臣賞、京都環境賞などを受賞。

～・～・～・～・プログラム・～・～・～・～

- **14:00**　開会挨拶
  環境担当理事　森山 睦
- **14:05-14:20**
  センターの取組・活動概要
  副センター長　堀家 匠平
- **14:20-15:05**
  賞味期限のウソ
  ～食品ロスはなぜ生まれるのか～
  ジャーナリスト　井出 留美
- **15:05-15:50**
  食品ロスの向こう側
  ～循環型経済が変えるまちと未来～
  環境省登録環境カウンセラー 武本 佳弥
- **15:50-16:10**　休憩
  パネル発表＆展示　ホワイエ
- **16:10-16:55**
  パネルディスカッション
  テーマ：私たちはごみ問題にどう対応すべきか
  ファシリテーター：小島 理沙
  神戸大学大学院経済学研究科　特命講師
  パネリスト：
  ・武本 佳弥（環境省登録環境カウンセラー）
  ・井出 留美（ジャーナリスト）
  ・大学生代表（ボランティアサークルえこふる）
  ・行政代表（神戸市環境局）
  ・高校生代表（ESD Food プロジェクト）
- **16:55-17:00**
  『環境報告書』写真採択学生の表彰
- **17:00**　閉会挨拶
  センター長　内野 隆司

協賛　神戸大学生活協同組合　/　セブン-イレブン神戸大学工学部店　/　スターバックス コーヒー　神戸大学店

神戸大学環境保全推進センター
〒657-8501　兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
078-803-5990
https://www.research.kobe-u.ac.jp/cema/

お問い合わせ・詳細・申込はこちらから
環境保全推進センター
参　加　申　込

“食”から広がる、環境と社会へのまなざし

　本シンポジウムでは、「食品ロスの真実～未来を変える選択～」をテーマに、２名の講演者をお迎えします。
食品ロスを専門とする井出氏は、私たち一人ひとりの行動変容に焦点を当て、日常の選択が未来を変える可能性について語ります。
　一方、武本氏は、食品ロスを出発点としながら、資源循環の視点や地域経済・社会との関係性に光を当て、より広い視野から持続可能な社会のあり方を探ります。この講演を通じて、参加者の皆様には、“食”という身近なテーマから、社会構造や循環型経済の可能性へと関心を広げていただくことをねらいとしています。

パネルディスカッションのねらい

　“食品ロス”から考える、持続可能な社会のかたち
　本シンポジウムの後半では、「私たちは廃棄物（ごみ）問題にどう対応すべきか」をテーマに、パネリストによるパネルディスカッションを行います。ファシリテーターを務めるのは、環境経済学、循環経済論を専門とする小島理沙特命講師（神戸大学大学院経済学研究科）。講演者の井出留美氏と武本佳弥氏に加え、神戸大学の学生代表、附属中等教育学校の生徒代表、そして神戸市環境局の行政代表が参加して、それぞれの立場から意見を交わします。“食”を切り口に、個人の行動、地域社会の取組、政策の方向性など、多角的な視点から持続可能な社会の実現に向けた課題と可能性を探ります。

📌パネル展示のご案内：百年記念館（神大会館）２階ホワイエ

１１月４日（火）１４時　～　１１月５日（水）１７時

※シンポジウム翌日も公開中！

シンポジウム当日と翌日、ホワイエにて、環境に関する多彩な取組を紹介するパネル展示を行います。ぜひお立ち寄りください。

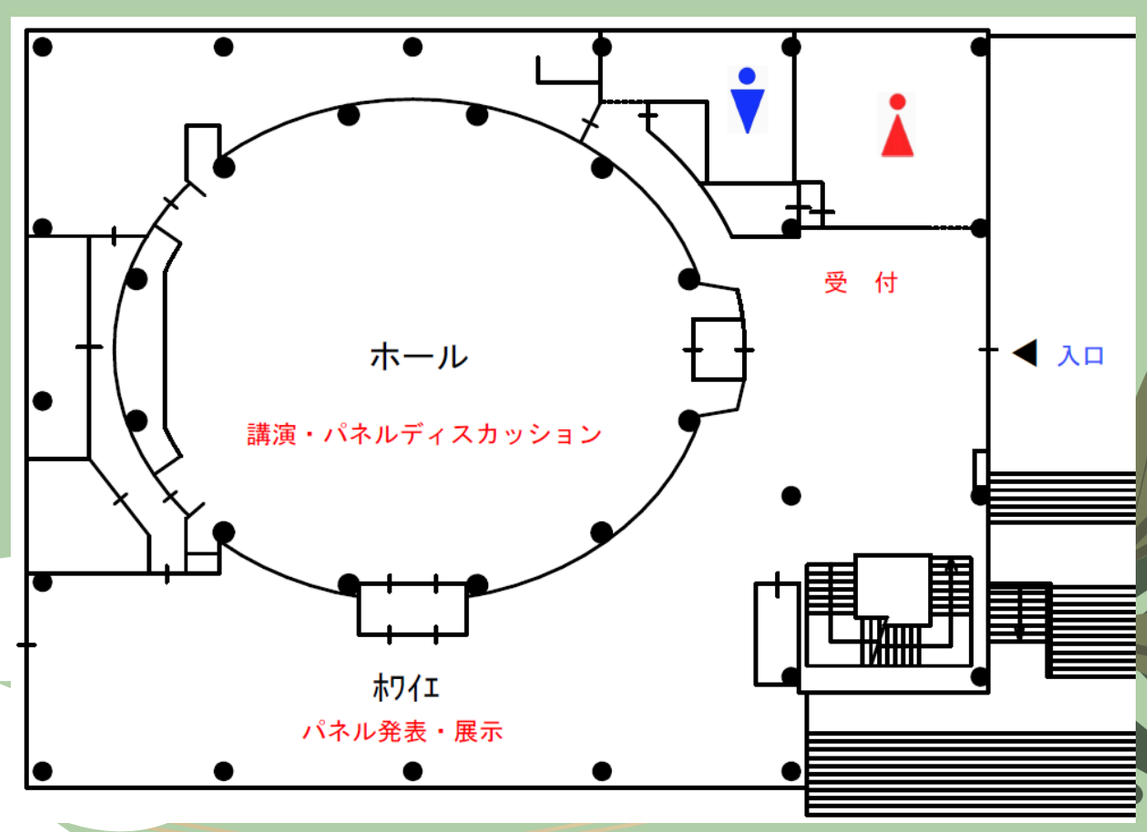
📌展示内容（ポスター掲示）

１．神戸大学『環境報告書』掲載の取組・活動紹介
教育・研究・キャンパスでの環境配慮の実践を、記事パネルでご紹介します。

２．学生・生徒による研究・活動紹介
神戸大学の学生・大学院生、附属中等教育学校の生徒による環境に関する研究や実践活動を展示します。

３．協賛団体のエコ活動紹介
神戸大学生活協同組合、セブン-イレブン神戸大学工学部店、スターバックス コーヒー 神戸大学店による環境配慮の取組を紹介します。

４．環境保全推進センターの活動概要
センターが推進する環境保全の取組や支援活動を紹介します。



【引換案内】
本チラシをご提示いただくと、協賛団体セブン-イレブン神戸大学工学部店よりPETボトルのお茶（1本）を進呈いたします。

【引換場所】
セブン-イレブン神戸大学工学部店
（店舗に直接ご持参ください）

【引換期間】
2025年11月4日（火）～11月7日（金）

※本チラシ1枚につき1本限り。
※コピー・画像による提示は無効です。

※店舗にて日付・店舗名入りのスタンプ印を押印します。

【受領印欄】
（店舗印）

DRINK
引換券

※本シンポジウムは、協賛団体のご協力により、当日さまざまな提供があります。

アンケートはこちら